

企業研修導入事例Ⅰ

【入職1年目のリフレッシュ研修】

令和6年9月3日（火）

山陰労災病院 担当者：小前様、原田様、川上様



<対象者>

令和6年4月に山陰労災病院に入職した、看護師、事務職員、臨床工学技士、薬剤師の14名

<研修のねらい>

普段から入職者の14名は集まって研修をしておられますが入職から半年を迎えた節目で大山青年の家で研修を行われました。

自然豊かな大山青年の家での活動を通して心身ともにリフレッシュし、入職者同士がお互いの相互理解を深める場になればいいと企画されました。

<事前打合せ>

研修1ヶ月前に、担当者様に大山青年の家に来所していただき、研修のねらい、当日のスケジュール、活動内容について打合せを行いました。より効果的な研修となるように、普段の職場での様子なども教えていただきました。担当する指導員はその情報を参考に活動の進め方について考えていきました。確認事項や連絡事項があればその都度、電話やメールで情報共有を行いました。



<当日の活動の様子>

○サバイバルオリエンテーリング

まず、野外炊事でご飯を炊いてカレーをつくるために食材を集めます。班のメンバーと協力して地図に記されたチェックポイントを探しました。チェックポイントにはQRコードがあるのでスマホで読み込んで、カレーの材料がでてきたら食材ゲットです。担当者様が自作された問題も出題されました。



○野外炊事

集めた食材を使ってのカレー作りでしたが、すべての食材を集められなかった班が……。班の代表者による話し合いにより食材がシェアされ、全ての班が、いつものカレーを作ることになりました。当日は絶好の天気で、石を組んでかまどを作り、調理をする班もありました。



○ハイクで俳句（ハイキングして感じたことを、俳句にして詠もう）

サバイバルオリエンテーリングと野外炊事後は、室内で班のメンバーと振り返りの時間です。班のメンバーのこと、自分のこと、自然のことのいずれかをテーマに俳句を詠み、みんなで鑑賞し感想を發表しあいました。



○リフレクション

担当者様が準備されたワークシートを使っての時間でした。入職してから半年の間に感じていることをワークシートに書き出し、全員で共有しました。不安や悩みなどの話しづらいことも、普段とは違う環境で半日一緒に活動した同期の前では話すことができました。聞く側も、言葉に耳を傾けるだけではなく、言葉にはしていない感情も想像することで、お互いをより理解しようとしていました。



<研修を終えての担当者様からのご感想、ご意見>

- 事前に打合せしていただき、研修の目的、目標を共有することができました。当日も目的、目標を達成できるよう、誘導していただいたり、円滑に進行できるよう援助していただきました。
- 院外で自然に触れながらの研修でリフレッシュできて満足です。
- 同期とともに過ごすことで安心感もあったようです。
- 効果的なリフレクションができるような活動ができれば良いな、と思います。